

杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2020年 10月 1日発行

10月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 115 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ: <http://sugi.pupu.jp/>

JR向日町駅東口開設・タワーマンション問題

議会報告
2-3面

ていねいな説明と合意作りが必要だ



向日市議会議員 杉谷伸夫 所属政党なし
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。GSユアサ(旧日本電池)勤務を経て、2011年より向日市議会議員3期目。65才

向日市は3年前に、JR向日町駅を橋上駅にして東口を開設し、駅ビルを建設する構想を発表しました。そして今年2月に、駅ビルは最大で36階建てのタワーマンション(高さ100メートル超)と中低層の商業系ビルを想定しているとの考えを表明。5月以降、タワーマンション建設を可能とする都市計画の変更手続きを進め、9月末の都市計画審議会で決定する予定です(9月23日現在)。

向日市議会9月定例会には、この計画の見直しを求める請願が市民から出されました。向日町駅の東口開設のためにタワーマンション建設を良しとする市民合意が、この短期間にできたとは思えません。これからの向日市のまちづくりと財政に大きく関わる内容です。向日市は、これから

も基本計画の作成など節目ごとに市民への誠実で丁寧な説明を行い、大多数の市民に理解・歓迎される駅ビルと駅周辺整備事業となるよう努力頂きたいと思います。(9月23日・杉谷 伸夫)

安倍政権の7年8カ月で 壊されたモラルの再構築を

戦後最長・最悪の安倍政権が終わった。最悪という最大の理由は、民主主義社会の基本ルールやモラルを次々と壊してしまったからだ。

- 憲法上禁止されてきた「集団的自衛権」の行使を一内閣の解釈変更で可能とし(99%の憲法学者が憲法違反と表明)「他国の戦争に参戦できる」安保法制を強行!
- 森友・加計・桜を見る会問題で明らかになった「お友達」や支持者への露骨な優遇と、証拠・記録の隠蔽・改ざん、忖度政治。自殺者も!
- 「責任を痛感」「丁寧に説明する」と口で言いながら、一度も説明せず、憲法で義務づけられ

10月の催し

■ 10月10日(土)10時・寺戸公民館大会議室
市民参加でまちをつくる会・例会
「向日市の来年度の予算を考える」
※どなたでも参加を歓迎します。

た臨時国会すら開かない無責任・無法の横行! 何より問題なのは、こうした異常な政権運営が長期に続き、異常が日常になってしまっていることではないか。

首相は変わったが、菅氏は安倍政権を支え続けてきた黒幕だ。責任を追及し、壊された民主主義を作り直さねばならない。(杉谷)

連絡先

ご相談はまずお電話を! TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



向日市議会・9月定例会の報告

●新型コロナ感染症対策

PCR検査の抜本的拡大求める意見書を可決

●JR向日町駅東口開設とタワーマンション問題

丁寧な説明と住民合意づくりを求める

向日市議会9月定例会は、昨年度（2019年度）決算の認定が最大議題でした。私は、公約である「憲法いかした福祉のまちづくり」の視点からチェックし、子育て支援では、保育士確保策がなされず待機児童が解消されないこと、国民健康保険料が4年連続の大幅値上げで京都府内最高水準になっているのに、困難世帯への市独自の支援策がないことなどを指摘し、反対しました。

新型コロナ感染症対策として、市民の最大の要求である「PCR検査の拡大」に向け、向日市長の努力を求めるとともに、国に対する議会としての意見書を提案し、可決しました。

そのほか、向日市が直面する重要課題について市の姿勢をたどしました。

新型コロナ対策

PCR検査の大幅拡充求め市長と論戦

いまだ世界中で感染拡大中の新型コロナ感染症対策は、社会が直面する最重要課題です。これから秋～冬のインフルエンザ流行期にも大きな感染の波に襲われる危険があります。その対策の柱は徹底したPCR検査による早期発見・早期対策です。私が実施した市民アンケートでも、「PCR検査の拡大」が最大の市民要求でした。私は市長に対し、「PCR検査の拡大」をめざすため、最大限の努力をすることを求めました

市長は「必要な人がもれなく検査を受けることができる体制が整っている」と答弁しましたが、市民の実感と大きくかけ離れています。市長の言

う「必要な人」とは、明確な症状が出た人や、保健所が検査必要と判断した人に限られているのです。そして「検査が必要な人」の範囲は、検査体制が逼迫すれば狭められます。世界中で大量検査体制が整備され、ニューヨークではいつでも何度でも無料で検査が受けることができます。医療先進国を自負する日本が未だわずかな検査しかできない現状を変えるため、今後も訴え続けます。

●「PCR検査の抜本的拡大を求める意見書」を議会が可決し、国へ提出しました！

提出者：杉谷・丹野（順不同・敬称略）

賛成者：山田・飛鳥井

採決賛成：太田・和島（以上MUKOクラブ）
佐藤・常盤・北林・米重（以上共産党）

生活保護行政の改革

職員のSOSを無視した組織の改革を!

向日市の生活保護ケースワーカー職員が、利用者である元暴力団員の脅迫により遺体遺棄に加担させられた事件を機に、私は関心ある市民の皆さんとともに、向日市の生活保護行政の改革を求めてきました。

職員は、向日市に提出する自己申告書で精神的に追い詰められている状況を訴えたにも関わらず、無視され何の対応もされなかった問題について、副市長は、市の自己申告制度の改善の検討に

ついても言及しました。当然です。風通しの良い、職員が安心して働ける環境作りを求めます。

「不当要求行為等対策条例」を検討

この間、向日市はこのような問題の再発防止のため、不当要求行為等対応マニュアルを作り、現在「不当要求行為等対策条例」の検討を進めています。しかし、市役所に求められる一番大切なことは、「市民の相談、要望」への公正・誠実・丁寧な対応です。「不当要求への対応」に焦点を絞った条例で良いのか？とも考えます。次の議会での制定をめざし、議会の意見を10月16日までに求められています。しっかり検討したいと思います。

JR向日町駅東口開設・タワーマンション

にぎわいづくりへの期待の声と タワーマンションへの懸念の声

今後の向日市のまちづくりと向日市財政に大きな影響を与える重要な問題です。市民有志や学生インターンにも協力してもらって、街頭とネットを使って市民の意見をお聞きしたところ、177人の方から回答・意見を頂きました（最終結果は下表参照。頂いた意見はホームページに掲載）。

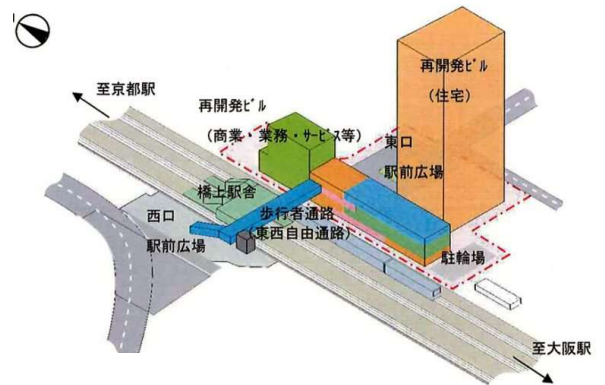
賛成意見は「まちの活性化につながる」「一刻も早く実現を」「計画を頓挫させてはならない」など、東口開設が向日町駅周辺のにぎわいづくりにつながることを期待する声です。一方で「あまりに高すぎる」「タワーマンションは様々な問題がある」「向日市の町にふさわしくない」などタワーマンションへの懸念も多く出されました。

向日市は「東口開設のためには、これしかない」と言いますが、市民にとってはいきなり100mのタワーマンションであり、懸念の声は当然です。JRや関係機関との合意作りに数年を要した一方で、市民の合意づくりの時間が数ヶ月と短かすぎます。市民の懸念に丁寧に答える必要があります。

このまま大急ぎで都市計画決定すべきでなく、一旦立ち止まり慎重な検討が必要だと訴えました。

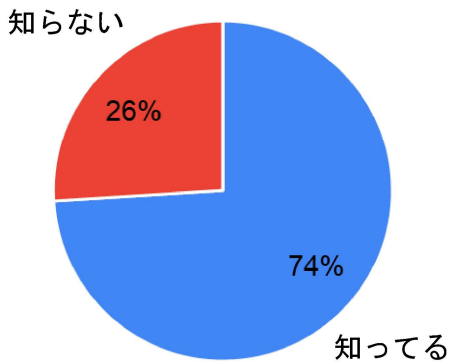
●市民からの請願提出と私の意見

市民から計画見直しを求める請願が出されました。本市のまちづくりの中で、景観や建築物の高さ規制についての議論もほとんどないまま、個別の建設計画が進んでゆくなれば、大きく方向を誤る可能性があります。慎重に検討すべき問題だと思います。しかし一方で、請願者が求めるように、15階建て以下への高さ規制を設けた都市計画に変更することは、この間検討を進めてきた計画を白紙に戻すことになり賛成できません。そこで、私は請願に対する採決に加わらず、退席しました。

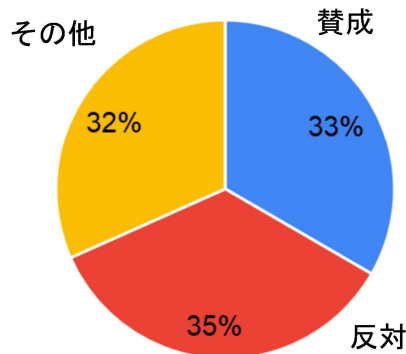


JR向日町駅周辺整備に関するアンケート(最終結果)

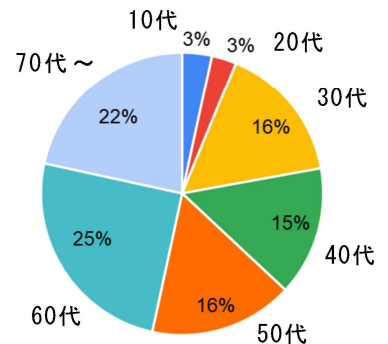
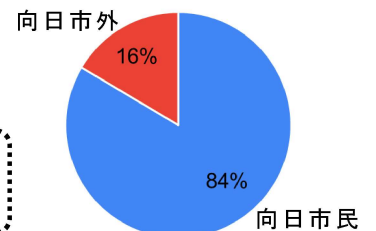
高層マンション計画について



この計画に対する賛否



回答数
177人



中央公民館はどうなる？

市役所新庁舎が来年早々からオープンし、その後現庁舎を解体した跡に、新しい市民会館が2022年度に完成の予定です。旧市民会館は、中央公民館としての機能を兼ねていましたが、新しい市民

会館ではどうなるのか？

議会の質疑の中で、新しい市民会館には、これまでのような中央公民館としての機能を無くすことも検討されていることがわかりました。この問題は利用者市民の意見が何より重要であり、その意見が反映される手続きを求めます。

安倍政権は 終わったが

安野 洋子

7年8ヶ月の安倍政権が終わったというのに、少しも喜べない。次に安倍政権の黒幕、菅官房長官が総理総裁になるというのだ。やっと安倍政権が変わると思っていたのがっくり。黒幕の野望実現と言うべきか。「夢にも次期総理など思ってもいません」と言っていたのに、二階幹事長に押されたと言って顔を出してきた形になっているが、虎視眈々と狙っていたのだろう。安倍首相はコロナ問題で支持率は35%になっていたのに、辞めると言った途端に55%になったという。病気で辞めることに同情が集まったのか。日本人の気質の甘さが表れていると思う。

安倍政権は衆参で多数を占めたことで7年8ヶ月の間、日本を戦争のできる国に近づけていった。

総理になってまず2013年、特定秘密保護法の制定、14年集团的自衛権の行使容認の閣議決定、15年安全保障関連法を制定した。それまで憲法を変えない限り集团的自衛権を行使できないという解釈を維持してきたのに、内閣法制局長官まで交代させて強行し実現させたのだ。その後内閣人事局を強力にし、官僚機構を掌握して官僚が政治家に従属する構図を固めていったのである。そして森友・加計・桜を見る会問題など未だに解決しようとしていない安倍首相の傲慢さを浮き彫りにした。

アベノミクスの三本の矢は大して経済力を高めることもなく、経済学者の浜矩子さんが「アホノミクス」と言い続けていた通りだったのではないか。しかしアメリカとの連動で株価が高値を保ち、政権を維持したと言える。思い出すと2007年の第一次安倍政権では、選挙で敗退したことで潰瘍性大腸炎を理由にして政権を一年で投げ出した。今回も同じ病気の再発だという。コロナ問題という苦境に遭遇し退却した政権だが、総理の最長記録を作り上げる日までは存続させたようだ。あまり精神的にも強くない安倍首相を7年8か月支えた人物が、今度は表舞台に登場するのだ。期待するより幻滅を感じるのは私だけだろうか。(9月15日)

杉谷事務所での議員活動を体験して

議員活動の難しさ実感 様々な考え吸収したい



初めての経験が多かったインターンでした。JR向日町駅とタワーマンション計画についての街頭アンケート、勉強会への参加、市議会の傍聴、決算調査など、中には眠気を誘い、骨の折れる作業もありましたが、どれも今の自分の血肉になっているはずです。

活動を通して強く感じたのは、市井の人はそれぞれ異なった考えを持っているということです。マンション計画にしる、コロナ対策にしる、問題の受け止め方や意見は本当に多種多様でした。市議会議員の仕事は、市民の声を聞いて市政に反映することですが、当然すべての人の意見を同じだけ聞くということではできないわけで、自分個人の意見とも照らし合わせながら、議員としての主張を決めていくのは難しいことであると感じました。この2か月間、杉谷議員に同行し、比較的杉谷議員と考え方の近い人と多く関わりましたが、その経験も大切にしながら、若いうちは他の様々な考え方も吸収していきたい。(KAZU・大学2年生)

街頭アンケートを経験 暖かい町だなと思った



このインターンに参加するまで私は政治に興味を持ったことがなかったのですが、2ヶ月間杉谷さんの元で活動させていただく中で、ある議員が議会で野良猫の問題について真剣に話している姿や、杉谷さんが「杉谷ひろば」を毎月手配りしている姿を見て、政治家と言えば議会で腕を組んで寝ているイメージだったので、議員が市民の方々のために一生懸命頑張っていることを知り、このような方々がいるからこそ、私は今まで快適な生活が送れていたのだなと感じました。

杉谷さんはとても優しく、美味しい向日市のご飯屋さんにも連れて行ってくださいました。また、街頭アンケートをした時に、向日市民の皆さんがとても優しく対応してくださり、暖かい町だなと思いました。初めて経験することだらけのとても充実した2か月間になりました。向日市には美味しいご飯屋さんがあることもわかったので、また食べに来たいなと思います。(MYU・大学1年生)